

# 経済動向に関する参考資料

令和3年12月23日

十倉 雅和  
中空 麻奈  
新浪 剛史  
柳川 範之

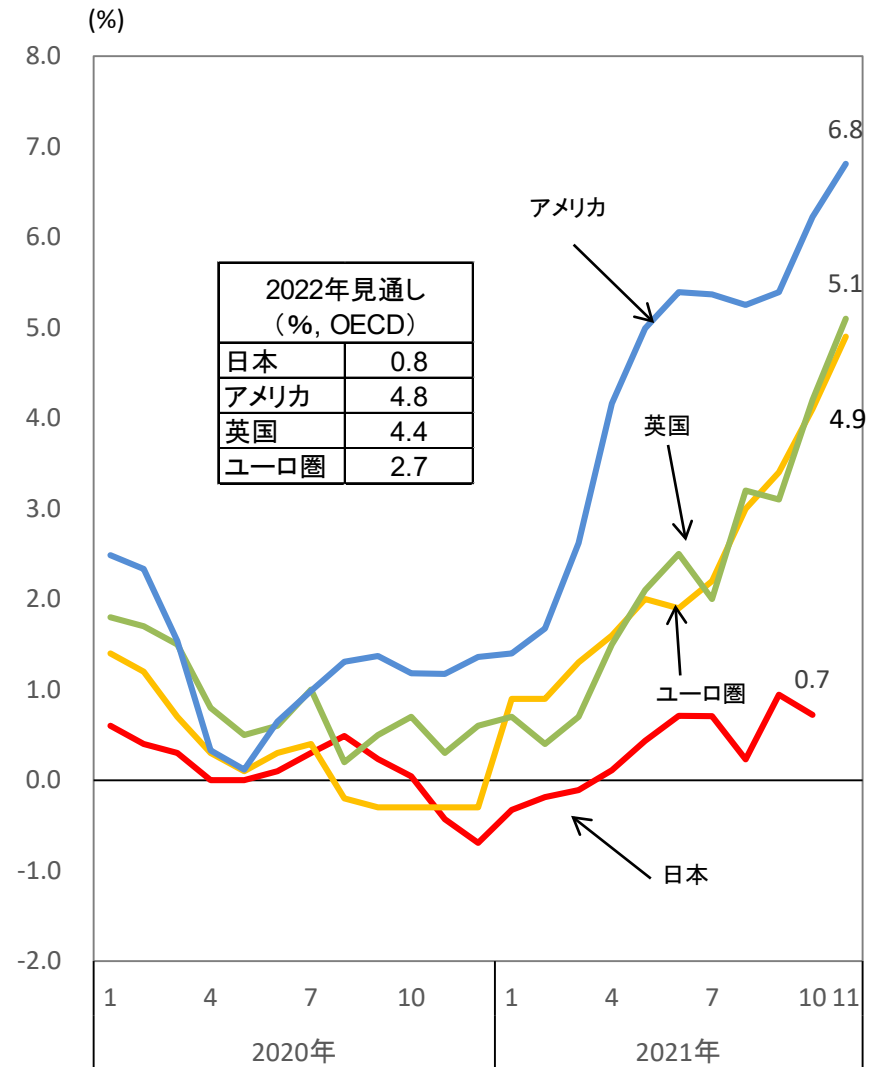
# GDPと物価の見通し

【図表1】OECDによるG7諸国の成長率見通し(%)

	2021年	2022年	2023年
世界全体	5.6	4.5	3.2
日本	1.8	3.4	1.1
アメリカ	5.6	3.7	2.4
ドイツ	2.9	4.1	2.4
フランス	6.8	4.2	2.1
イタリア	6.3	4.6	2.6
イギリス	6.9	4.7	2.1
カナダ	4.8	3.9	2.8

世界の貿易量(輸出入の単純平均)の成長率は  
2021年: 9.3%、2022年: 4.9%、2023年: 4.5%

【図表2】消費者物価指数(総合)の各国比較



(備考)

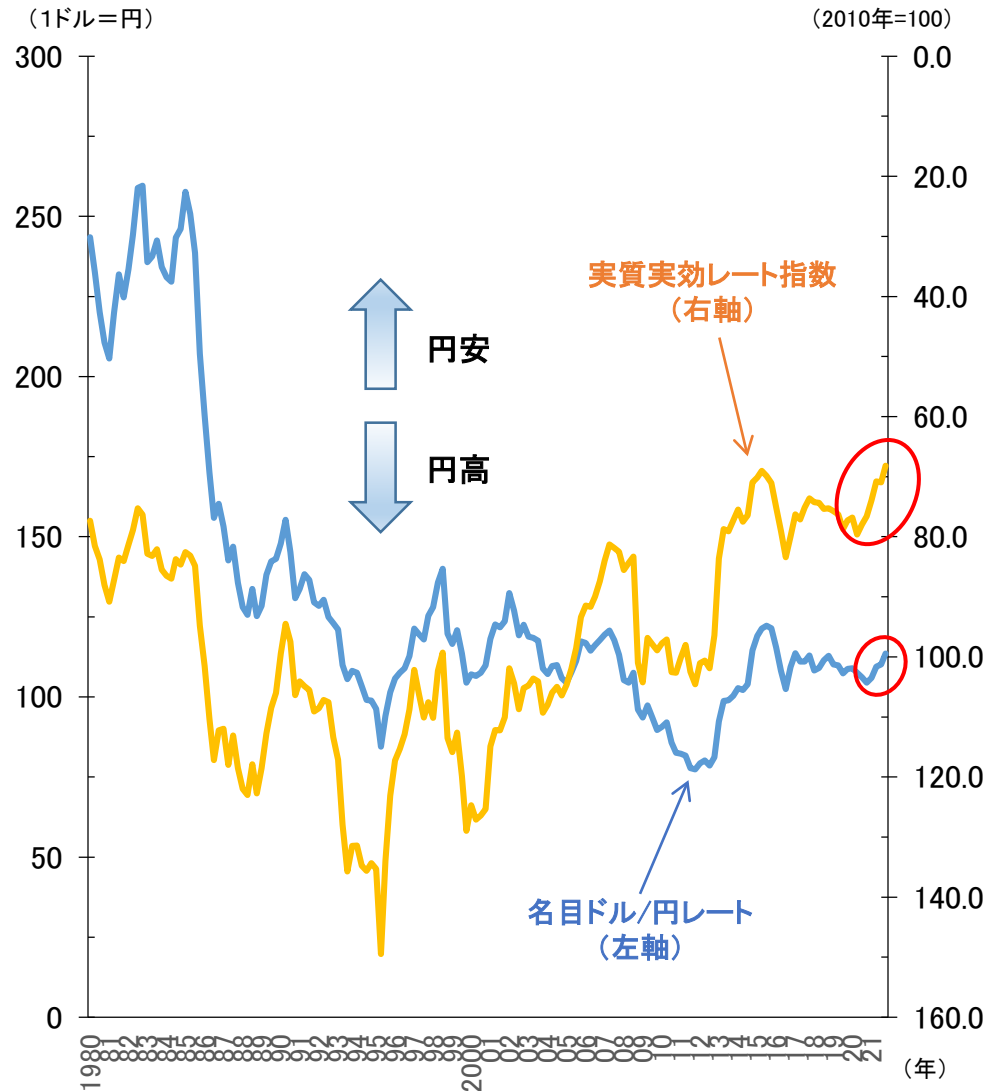
1. OECD “Economic Outlook, December 2021”より作成。

(備考)

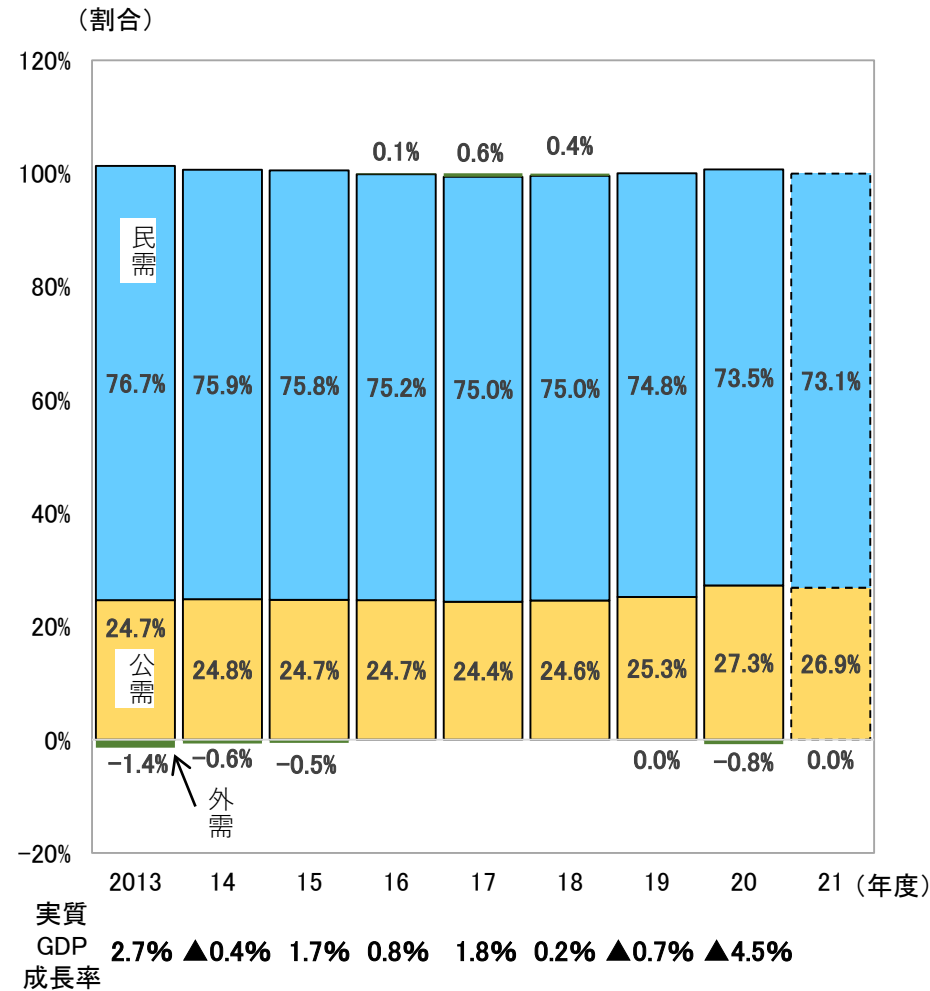
1. 実績値は、総務省「消費者物価指数」、アメリカ労働省、ユーロスタット、英国統計局より作成。  
見通しは、OECD “Economic Outlook, December 2021”より作成。

# 為替レート、GDPの内訳

【図表3】為替レートの推移



【図表4】日本の成長率と民需・公需・外需の内訳

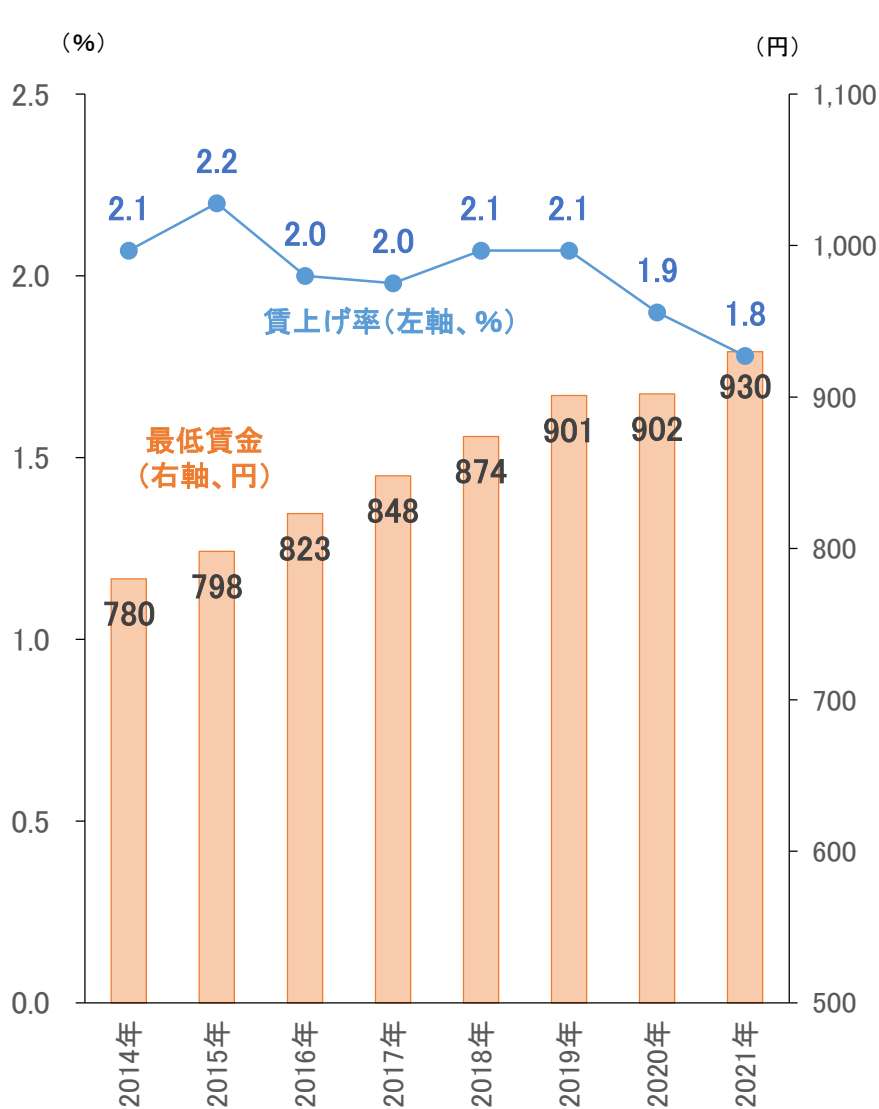


(備考)

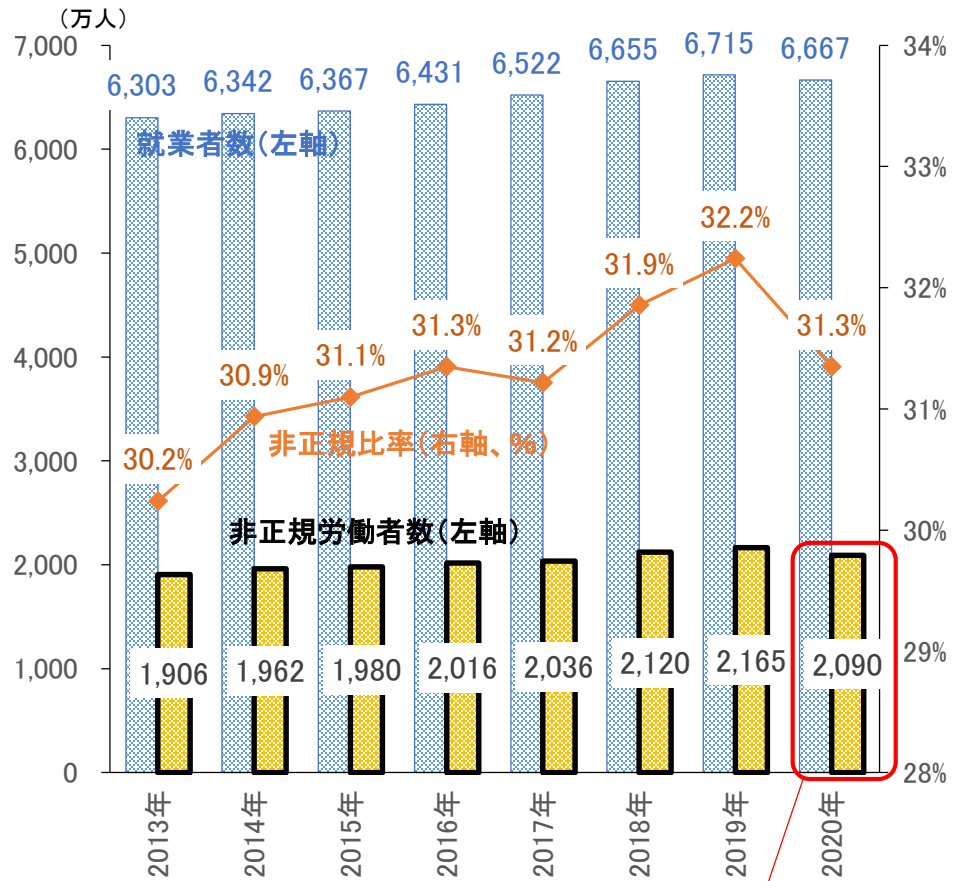
- 図表3は、日本銀行「外国為替市況」及び「実効為替レート」より作成。
- 図表4は、内閣府「国民経済計算」により作成。21年度は、4-6月期、7-9月期の年額換算の平均値。

# 賃金引上げ

【図表5】賃上げ率(春闘)と最低賃金の推移



【図表6】就業者と非正規労働者の推移



うち不本意非正規労働者	230万人	【12%】
うち25-54歳 男性	56万人	
うち25-54歳 女性	77万人	

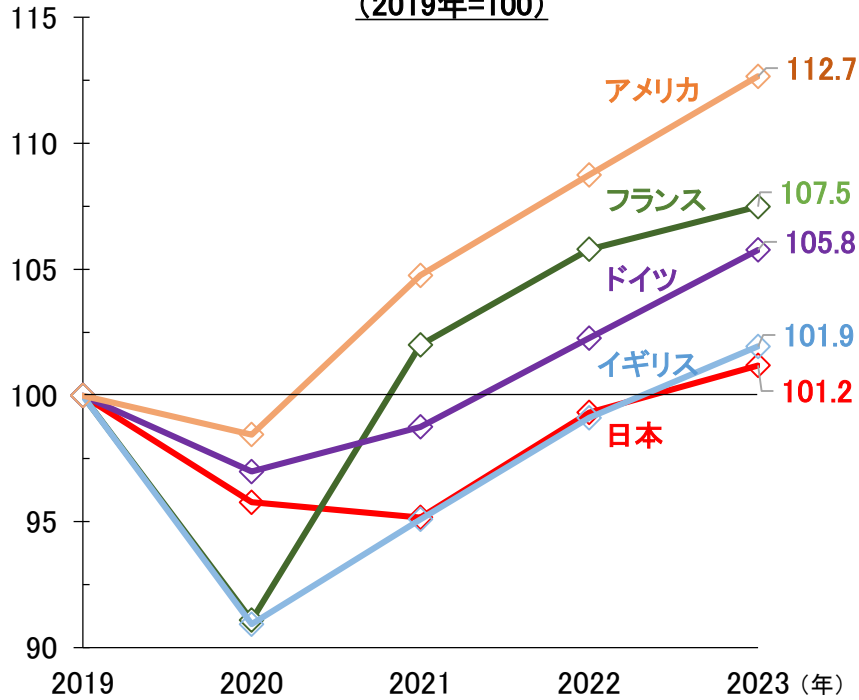
※平均月収(企業規模10人以上、男女計、学歴計)は、正規労働者が**34.9万円**、非正規労働者が**22.8万円**と、**12.1万円の差**。

(備考)

- 図表5は、日本労働組合総連合会「春季生活闘争回答集計結果」、厚生労働省「地域別最低賃金改定状況」より作成。「賃上げ率」は平均賃金方式による集計。「最低賃金」は全国加重平均値。
- 図表6は、総務省「労働力調査」の詳細集計(各年平均)及び厚生労働省「令和2年賃金構造基本統計調査」より作成。「不本意非正規労働者」は「非正規の職員・従業員のうち「現職の雇用形態について理由」が「正規の職員・従業員の仕事がないから」となっている者の数。

# 設備投資、企業収益

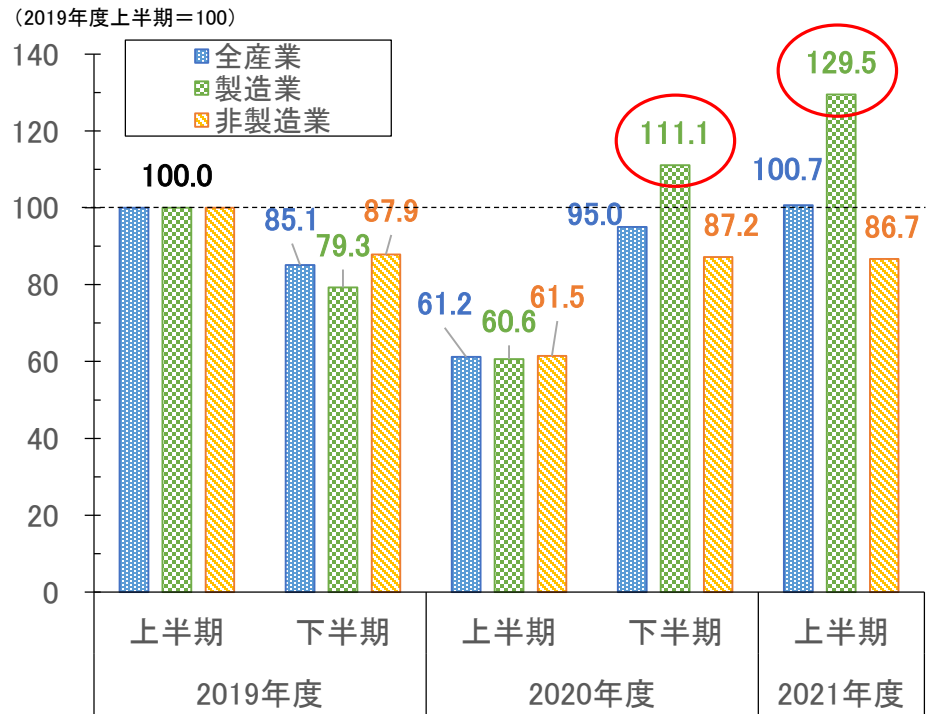
【図表7】OECDによる総固定資本形成の見通し  
(2019年=100)



伸び率(%)	2021年	2022年	2023年
アメリカ	6.4	3.8	3.6
フランス	12.0	3.7	1.6
ドイツ	1.8	3.6	3.4
イギリス	4.6	4.2	2.9
日本	▲0.6	4.4	1.9

(備考)  
1. 図表7は、OECD “Economic Outlook, December 2021”より作成。民間企業設備に加え、民間住宅投資、公的部門の総固定資本形成も含まれる。  
2. 図表8及び9は、財務省「法人企業統計調査」より作成。金融業、保険業以外の業種。

【図表8】法人企業の経常利益(2019年度上半期=100)



【図表9】法人企業の現金・預金

